

# HUMAN RIGHTS

## 生き生きと暮らせる地域をめざして

～阪神・淡路大震災がきっかけに～

いろんな笑顔でボランティア(大東市)

「いろんな笑顔でボランティア」が発足して8年目になります。そのきっかけとなったのは9年前の阪神・淡路大震災でした。

日頃の付き合い、地域のつながりによって多くの人の命を救えたこと、そして被災地で懸命になって働くボランティアの姿も私たちの胸をうちました。

いつしか自分たちの中で、自分たちも何かボランティアをしてみたいという思いが強まっていました。そこで、社会福祉協議会にボランティアとはどういうものか、誰にでもできるものかといったことについてお話を伺いに行きました。

### ●住んでよかったと思える地域に

ボランティアとは「誰でも」「いつでも」できるもので「やさしい思いやり」「ちょっとした気配り」「人を大切にし、お互いを尊重する気持ち」であるということをお話していただき、それは自分たちの思いとぴったり一致していました。

そして、堅苦しく考えず自分たちのやりたいこと、お互いに協力できることから始めていこうということになりました。

みんなが集まった中で、地域の高齢者をはじめ誰もが住みよい地域、住んでよかったと思える地域をめざそうということになり、様々な取り組みがはじまりました。

### ●様々な行事に参加

地域の諸行事や冠婚葬祭でのお手伝いをはじめ、高齢者に関わっては、日頃の安否確認や話し相手になったりしてきました。



高齢者との交流



七夕まつりのミニコンサート

また、病院に付き添ったり、入院している方へのお見舞いなどもしてきました。

日頃外出する機会の少ない高齢者のために、花見会や食事会、もちつきなども企画・実施してきました。

人権を考える集い連絡会が主催するミニコンサートや七夕まつり、ふれあい広場等のイベントにも高齢者や障害者が参加しやすいような配慮、呼びかけを行ってきました。

そうした取り組みを通じて、連絡会の世話人としても参加させていただくことになりました。

### ●活動の輪が広がる

「いろんな笑顔でボランティア」の取り組みは、今では地域だけではなく周辺の高齢者や障害者との交流もすすめられてきています。

昨年10月に結成された社会福祉協議会の四条地区福祉委員にボランティアから2名が加わり、小地域のネットワーク活動に取り組んでいます。

高齢者や障害者が住み慣れた地域で生活をおくりたいという気持ち、その気持ちを地域全体で支え合い助け合う活動が小地域ネットワーク活動で、それは、私たちボランティアが8年前から率先して取り組んできたことでもあると自負しています。

今年2月には地域の住宅に入居されたハートフル大東グループホームのみなさんとボランティアで交流会を持たせていただきました。

同じ地域に住む仲間としてお互いを知り合えたこと、いつでも声をかけあえる関係をつくっていただければと思っています。